

若手研究者アンサンブルワークショップに参加し研究成果を発表しました (2018/7/4)

テーマ：東北大学附置研究所・センター連携体，研究所若手アンサンブルプロジェクト，分野横断

場 所：東北大学電気通信研究所（宮城県仙台市）

URL：<http://web.tohoku.ac.jp/aric/index.html>

7月4日（水）東北大学電気通信研究所本館にて，第四回東北大学若手研究者アンサンブルワークショップが開催されました。本ワークショップは東北大学附置研究所間の若手研究者を中心とした交流に重点を置き、「仲間の輪を拡げれば、もっと研究がたのしくなるかも!？」というモチベーションのもと、分野横断的・学際的な共同研究に発展させることを目的としています。

災害研からは6名の研究者が参加し、人間・社会対応研究部門の水谷大二郎助教が優秀ポスター賞を受賞しました。今後も当研究所では文理融合の学際研究を深化させるため、本連携プロジェクトに積極的に参加していきます。

【災害科学国際研究所からの研究発表】（ポスター番号順）

水谷 大二郎 助教（人間・社会対応研究部門）：インフラマネジメントに対する数理的アプローチ

門廻 充侍 助教（災害リスク研究部門）：南海トラフにおける津波を対象とした海洋レーダが観測可能な最小地震規模の検討～和歌山県美浜局を用いた例～

橋本 雅和 助教（災害リスク研究部門）：バングラデシュ・ダッカにおける洪水氾濫モデルを用いた健康リスク評価

奥山 純子 助教（災害医学研究部門）：災害による健康への影響を防ぎ、予防するための災害健康データベースの確立

今野 明咲香 助教（災害理学研究部門）：地理情報システムを用いた 2016 年熊本地震における地震断層と活断層の離隔距離に関する定量的検討

寅屋敷 哲也 助教（人間・社会対応研究部門）：火山噴火警戒後の観光への影響と観光振興についての考察



水谷助教



門廻助教



橋本助教



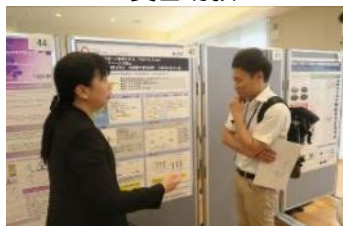
奥山助教



今野助教



寅屋敷助教



ポスター発表の様子



ポスター会場の様子



ショートプレゼン会場の様子

文責：橋本雅和（災害リスク研究部門）